

授業科目 医学一般 II

【担当教員名】 丸田 秋男	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

【一般目標：GI0】
 医学と社会との関係及び人口の動向等を理解した上で、日本の医療保険制度と保健医療サービスの概要、保健医療サービスにおける専門職の役割及び多職種連携の実践を学び、社会福祉士に求められる実践的力量を形成する。
 (介護福祉コース選択者は、前期の医学一般において、からだのしくみを理解し、こころからのしくみが移動や食事等の具体的な介護実践にどのような影響を与えるのかを学んだが、後期の医学一般においては、それらの知識と社会の医療に関する制度との関連性を学んでもらいたい)

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 保健医療サービスの基本となる事項（医学と社会との関係等）を理解することができる。
2. 医療保険制度及び保健医療サービスの仕組みと方法を社会福祉士の業務に結びつけて理解することができる。
3. 保健医療サービスにおける専門職の役割を正しく捉え、多職種連携を実践できる力量を身につけることができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業概要の説明		講義
2	医学と社会	1	講義
3	診療報酬（1）	1	講義
4	診療報酬（2）	1	講義
5	公衆衛生の動向（1）	2	講義
6	公衆衛生の動向（2）	2	講義
7	保険医療サービスの概要（1）	2	講義
8	保健医療サービスの概要（2）	2	講義
9	保健医療サービスにおける専門職の役割（1）	2	講義
10	保健医療サービスにおける専門職の役割（2）	3	講義
11	保健医療サービス関係者との連携と実際（1）	3	講義
12	保健医療サービス関係者との連携と実際（2）	3	講義
13	医療保険制度（1）	3	講義
14	医療保険制度（2）	3	講義
15	まとめ	1-3	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	社会福祉学習双書『医学一般』	社会福祉学習双書編集委員会編	全国社会福祉協議会	2014・2,400円＋税
参考書	適宜、授業中に紹介する。			
その他の資料	適宜、授業中に紹介する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
1. 出席 2. レポート又は小テスト 3. 定期試験を総合して評価する。	社会福祉士国家試験指定科目（共通科目）であるので、国家試験対策という観点からも目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。